

令和元年第2回(6月)定例会

子どもの貧困について

みえ 子ども総合相談センター事務所にご対応いただいた2つの事例に衝撃を受け、とても心が痛みました。1つ目は、子どもの万引き等の相談を受けたケースです。家庭の収入が不安定で、携帯電話の通話料や保育料を滞納していました。子どもたちの文房具はそろっておらず、習字道具や鍵盤ハーモニカは、兄弟で共有しており、子どもは丈の合わない衣服や季節外れの衣服を着用していました。そして2つ目は、不登校のケースです。家庭状況を確認したところ、保護者は入退院を繰り返しているため就労できず、経済的に不安定で、電気などのライフラインが止まり、子どもは十分な食事がとれていませんでした。さて、電気や水道がとまり、食料や学用品に困窮している子どもがここ松山にもいるという現実には驚きました。そこまでに至っていないくても経済的な理由で苦勞している子どもたちが、この松山市に何人も存在しています。テレビや新聞で見聞きするような遠いところの出来事ではありません。その子たちは、助けを求めることがほとんどできずに、事件や事故がきっかけで発覚するまで困窮してしまうしかないようです。子どもの貧困対策推進法に言われているとおり、子どもの貧困解決には、社会全体で対策していくものではないでしょうか。これまでも自治体や民間などでさまざまな取り組みを行っていますが、貧困の改善は難しく、格差が広がっているのが現実の質問です。本市において現在どのような団体と連携して子どもの貧困対策に取り組んでいるのか、お聞かせください。

子どもに関する経費の決算額について

みえ 児童福祉費や小学校費、中学校費といった子どもに関する経費の決算額について、人口1人当たりに換算すると、中核市平均と比較してどの程度の差があるのでしょうか。また、中核市における本市の順位はどの程度なのでしょうか。また、他市との格差が生じている主な理由をお聞かせください。

答弁 人口1人当たりの目的別歳出額の比較は、市ごとに異なる諸条件を考慮しない単純比較ですが、中核市平均との差は、児童福祉費では中核市平均が約6万円、本市は約5万1000円で、その差は約9000円、小学校費では中核市平均が約9000円、本市は約4000円で、その差は約5000円、中学校費では中核市平均が約6000円で、本市も同水準です。また、順位については、児童福祉費が43位、小学校費が47位、中学校費が18位となっています。中核市平均との差の理由については、児童福祉費は、児童手当や保育園への給付費など、国が定めた基準により支給される扶助費が、また小学校費は、施設整備などの普通建設事業費が、中核市平均と比べてそれぞれ低いことが主な要因であると考えています。本市では、これまで小学校・中学校の耐震化を初め、東中学校小中連携校の整備や余土中学校移転整備のほか、エアコン整備など、教育環境の充実に重点的に取り組んできたことから、例えば平成27年度決算では、中学校費が4位、小学校費が17位となっています。

その他このような質疑&答弁が行われました

◎若年層の投票率について

みえ 世代間人口格差を認識し、政治に反映していくことについて市の御所見をお聞かせください。

答弁 高校生・大学生を対象としたグループインタビューや小・中学生からのまちづくりのアイデアなど、積極的に若い世代の意見を聞き、取り組みに反映しました。

◎キャッシュレス化

みえ これまでまちづくり松山に対してどのような目的で補助したのか、また補助した制度の概要を教えてください。

答弁 インバウンドの消費活動を促進することや、市民の利便性向上による集客やリピーター確保を目的に、補助しました。

◎学校の安全対策について

みえ 既設の防犯機器に対する維持管理と今後の整備、また訓練の方針についてどのようにお考えでしょうか。

答弁 防犯ブザー設置や非常通報装置の設置のほか、防犯カメラを設置しています。

◎県費補助の状況について

みえ 現行の4分の1から8分の3へ県費補助引き上げが決まりましたが、今後どの程度補助金が増加する見込みでしょうか。

答弁 県の補助対象になっている乳幼児医療費助成事業の補助率4分の1が8分の3に引き上げられると、年間で約1億1000万円の増になる見込みです。

答弁 医療費無料化を開始することなどにより今後も増加することを想定しています。しかしながら、今後、国が社会保障制度の基盤強化を進める方針を示しており、制度改正が行われると、地方財政は何らかの影響を受けることとなりますので、将来の推移を具体的に示することは、現時点で困難であると考えています。

みえ どの程度の地方消費税交付金の伸びとなるのか、お示しください。その金額は今後伸びていくであろう社会保障施策関連経費を賄えるのでしょうか。また、今回の消費増税だけで負担できなくなる場合、新たな財源はどのようにしていくおつもりか、御所見をお伺いいたします。

答弁 本市の交付金への影響は、今年度の収入見込額から試算すると令和2年度では、約10億円、3年度では、約18億円の増額となる見込みです。消費税率の引き上げによる地方消費税交付金の増分は、社会保障と税の一体改革により開始される幼児教育の無償化などのほか、当該年度の社会保障経費に全額充当されますので、今後の社会保障関係経費の増分を賄うためのものではありません。持続可能な財政運営を堅持するため、事務事業の見直しや効率化などの行財政改革のほか債権管理の更なる徹底や基金の有効活用などに努めているところです。



活動報告



台北市友好交流協定締結5周年記念事業



台北市友好交流協定締結5周年記念事業



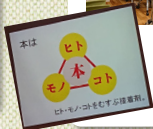
お外で子育て「まつぼっくりクラブ」ボランティア



お外で子育て「まつぼっくりクラブ」ボランティア



「図書館と地域をむすぶ協議会」チーフディレクター太田剛さんを招いて勉強会を開催



「図書館と地域をむすぶ協議会」チーフディレクター太田剛さんを招いて勉強会を開催



愛媛県市議会観光振興議員連盟総会・広域観光推進研修会に参加



嘉田由紀子・永江孝子参議院議員と女性議員ミーティングに参加



予算要望を提出しました。



全国都市監査委員会総会・研修会に参加



全国都市監査委員会総会・研修会に参加



防災専門図書館を視察



松山市青少年育成市民会議定期総会に出席



全国市町村国際文化研修所にて、研修受講



絵本の読み聞かせ



大神輿総練に参加



ワニナルアート親子キャンプ2019のボランティアスタッフ